

- 1 院内研究報告会
- 2 第4病棟装飾
サークル活動
- 3 マイ・ワールド
人事異動
- 4 人事異動

第28回 院内研究報告会

開催日:令和4年3月2日(水)

当センター院内研究報告会はコロナ禍により3年振り、今回で第28回目の開催を迎えることとなりました。毎年、日々の業務改善状況を確認しつつ、研究成果の発表を通して、学術的資質の向上と院内での評価を受ける機会としております。今回の院内研究報告会は、院内のみ10演題の口頭発表となりました。また、密を避けるため、2つの会場に分散しての開催としました。特に優秀な研究については、外部学会等への発表及び論文を専門誌に発表するようにしております。

近く全演題を論文の形で補正し、「東京都立東大和療育センター研究報告集 第28巻」として発刊する予定となっております。

<最優秀賞>

【コロナ禍の今こそ日中活動の充実】
生活支援科 高田貴二 他

<優秀賞>

【重症心身障害者に対する重曹とろみ水を使用した口腔ケアの実践】 第2病棟 紅林美穂 他

【長期利用者における摂食・嚥下能力の実態と対応】 リハビリテーション科 柏山むつ子 他

<努力賞>

【活動量計を用いた重症児者の睡眠状況の把握と遮光ドームを使用した安眠への介入】
第1病棟 白井雄介

<その他の演題>

【重症心身障害児(者)の上部消化管内視鏡】
医局 濱口弘 他

【自作トラキマスクを用いた身体抑制解除が重症心身障害者のストレス軽減に与える効果】
第1病棟 金岡郁子

【経験の少ない看護師と先輩看護師の重症心身障害児(者)への個別性のある看護の視点の違いについて】 第4病棟 熊田秀雄

【PD導入期にある重症心身障害者への入退院前後の心理的サポート】 第2病棟 菅原健太 他

【重症心身障害児(者)の意思表示の気付きと対応について】 1病棟 糀谷隆之

【上肢抑制用具の工夫】 第3病棟 袖岡茂樹 他





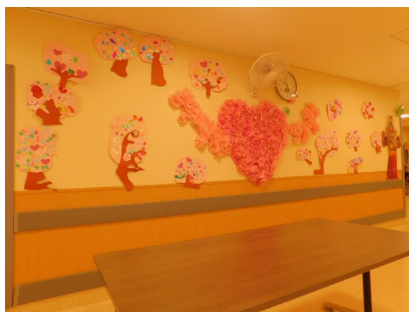
お花見&室内装飾【第4病棟】



「春」

第4病棟 生活支援科主査 田中輝昭

病棟では、毎週末に外へ(センターの敷地内ではありますが)お散歩に出かけることが習慣となってきました。最近では冬から春への移り変わりを肌で実感しているのではないのでしょうか。そして、センターの桜も徐々に開花がみられ、絶景スポットでまったりと記念写真を撮りました。コロナ禍で外出する環境がなかなか整わない中、とても刺激的な時間を共に過ごしたと思います。病棟内では、皆で作成した桜の装飾を壁に飾ったり、桜の開花状況の変化を画像で楽しんだり「春」満載です。



サークル活動【自然と友達サークル】

第2病棟 生活支援科主査 高田 貴二

日中活動充足への挑戦～サークル活動の紹介Part②～

2021年4月から始まったサークル活動(ICTサークル・自然と友達サークル)について、2回に渡ってお伝えします。第1回目はICTサークルの紹介でした。皆さん、ご覧になりましたか?まだ見てない方は、前月号をご覧ください。第2回目は「自然と友達サークル」紹介です。このサークルでは、自然と共に生き、自然を感じ、身体を動かし健康に生活を送るという目的があります。令和3年度は、いくつかのプログラムを実施してきました。①屋外でのハンモック体験では、心地よい音楽を聴きながら揺れを体験し、気持ち良い風を感じた活動でした。②自然と触れ合いながら、ストーンペインティング体験では、形の異なった石にたくさんの色を付けて装飾をした自然とアートが融合した活動でした。③屋内での活動では、大画面のスクリーンに映し出された映像に合わせて揺れを体験したり、疑似体験でアウトドア体験をしたりと、屋内ではあるものの自然をどこかで感じることができるよう活動を実施してきました。利用者の方達も、自然と触れ合いながら季節を感じる活動では、とても良い表情を見せてくれました。

まだまだ紹介しきれない活動もありますが、ほんの一部の活動を紹介させて頂きました。今後もサークル活動を実施することで、日中活動の充実が図れると考えています。今年度は、また新しい何かが始まる予感がします。利用者の皆さん、楽しみにしててください。





思うこと

感じること

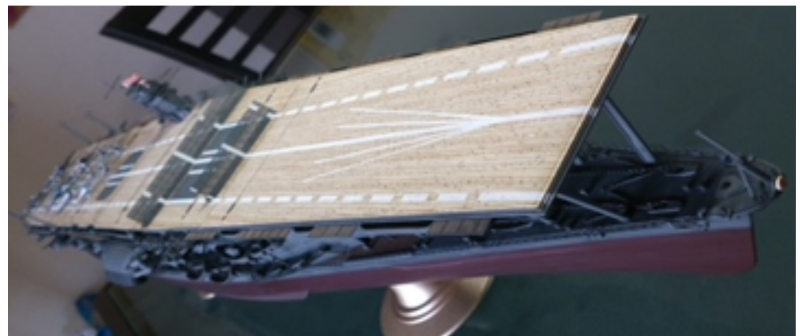
伝えたいこと

Vol. 21

看護部 専任リスクマネジャー 看護師長 富山 浩司

趣味はゲームです……では何のひねりもないので、模型の話でも。子供の頃からよくプラモデルを作っていました。高校生になって作らなくなって、30歳を超えたころから何故かまた作りはじめました。

自分の場合、大型の艦船模型は完成まで何年もかかります。エッチングパーツ(薄い金属パーツで加工は面倒で値段が高い)を使っているので、慣れても1つ作るのに30分かかかる機銃パーツを数種類×数十個つくります。かなりの苦行ですが途中で辞めるわけにもいきません。これは仕事もそうですね。終わりの見えない感染対策ですが自分たちの努力で結果は変わってきます。たまに萌え系も作ります。リフレッシュ大事。いろいろ大変ですが、リフレッシュしながらもう少しがんばりましょ。





編集後記

新年度が始まり、新たにスタートを切ってはや1ヶ月が経ちました。当センターも職員が入れ替わり寂しい反面、新たに頼もしい方々を迎え、利用者様のよりよい生活のため取り組んでおります。私も心機一転、新しいことに挑戦しようと思案中です。頭も身体も老いを感じてきた(そういえば目も…)ので、頭と身体を鍛えて心身ともに若返りたいと思います。(O)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第106号

編集 院内報そよ風編集委員会
発行日 令和4年5月15日
発行 東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222